

「全鍍連」 2025年 8月号 組合員の広場

福井県めっき工業組合 野村 勝人 (株)美装ジャパン 代表取締役)

「目的と目標」



みなさん、こんにちは。福井県メッキ組合の株式会社美装ジャパンの野村と申します。弊社は 9 割が眼鏡のメッキ、電着、塗装、染色、七宝、レーザー等主に行っている会社です。

さて、私事ではございますが、数年前までは小学校のミニバスケットボールを監督として 20 年余り指導しておりました。しかし社長になってから練習や遠征等にも帯同できない日が多くなり後継者に任せる形となりました。子供を 1 から教えさせていただく事は、ボランティアではありますが自分の成長にも大きく繋がり、交友関係や子供たちからもらうパワーや学びが数多くあった事を、今改めて感謝している次第です。小学生ですから、身長、運動能力に勝敗が左右されるのは当然なのですが、それを勘違いして「試合に負けたのは〇〇のせいや」とか言ってはならない事を言う指導者、父兄、子供を多く見てきました。子供に対する暴言、暴力、親や他の指導者との確執やトラブルを散々経験してきた私はある事に気づきました。

そのようなチームには、目標や目的がはっきりしていない、またはないと言う事です。以前全国ミニバスケットボールの指針には「何が何でも勝つということを教えてはならない」といった指針があり、自チームに当てはめるとどうなのだろう？と

自問自答した事は幾度なくありました。

自チームには、団旗に掲げたはっきりとしたチームの目標がありました。

「感動、感激、感謝」まるで会社社是のようですが、自費で団旗を作り、父兄にいた眼鏡デザイナーに、ロゴ、背景をお願いして作成したいわば、チームの大儀みたいなものです。では勝つことは、目的ですか？そのためだったら、何してもいいのでしょうか？試合などで勝つことは大切で子供たちもその為に一生懸命走り、飛んだり、シュートしたり・・・審判は帯同者が行います（辛い）。勝った後は？相手チームは？親は？目的果たしたら喜んで終わりでしょうか。

確かに一生懸命練習した子供たちは、試合中勝つ事を目指します。でもそれはあくまでも目標であり、目的ではありません。試合をさせていただく相手チームへの感謝、

朝早くからお弁当を作って送迎して下さる親への感謝、準備をさせていただく他チームへの感謝、審判やオフィシャルへの感謝 対戦チームへの素晴らしいプレーやナイスファイトの感激など、そして練習したことが出来たチームや個人の感動、目的と目標では大きくチームの成長が違った形ででてくるのではないのでしょうか。

現在の厳しい状況の中、弊社においてもいいところは残し、変化をしていかなければ発展はないものと考えております。

会社の目的と目標（ビジョン、方針含む）をもう一度確認し、社員と一緒に学び、実践していきたいと思っています。

今後とも皆様のご支援ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。